

国際日本文学研究集会

平成30年

11月17日(土)・18日(日)

17日

受付開始
開会挨拶12:30 ~
Robert CAMPBELL
ロバート キャンベル (国文学研究資料館長)

[総合司会]

UNNO Keisuke

海野 圭介 (国文学研究資料館准教授)

13:00 ~ 13:10

第1セッション

[司会]

NOAMI Mariko

野網 摩利子 (国文学研究資料館准教授)

[1] 『佳人之奇遇』における范卿という人物をめぐって

CHEN Huarong

陳 華榮 (東京大学総合文化研究科外国人研究生、東西大学博士課程)

13:10 ~ 13:40

[2] 島尾敏雄『死の棘』の構成の一面：草稿から作品への第四章「日は日に」の作成過程

MAUFROID Yannick (フランス国立東洋言語文化研究所 (INALCO) 博士課程)

13:40 ~ 14:10

[3] 日本占領下のインドネシアにおける菊池寛「父帰る」—ウスマル・イスマイルの戯曲翻案をめぐって

FITHYANI Anwar (筑波大学大学院博士課程)

14:10 ~ 14:40

休憩 (20 分)

14:40 ~ 15:00

ショートセッション1

[司会]

DAVIN Didier

ダヴァン ディディエ (国文学研究資料館准教授)

① 幸田露伴と近代中国知識人に関する試論 — 「墨子」の受容を手掛かりに—

LIANG Zhenhui

梁 鎮輝 (宇都宮大学大学院博士課程)

15:00 ~ 15:15

② 佐藤惣之助『琉球諸嶋風物詩集』における古琉球

XU Yuanyuan

許 圓圓 (広島大学客員研究員、黄冈師範学院助教、北京語言大学博士課程)

15:15 ~ 15:30

③

④ 村上春樹の〈変身〉—『恋するザムザ』論

HAYASHI Keisuke

林 圭介 (法政大学中学高等学校専任教諭)

15:45 ~ 16:00

休憩 (20 分)

16:00 ~ 16:20

ショートセッション2

[司会]

NAKAMURA Tomoe

中村 ともえ (静岡大学教育学部准教授)

⑤ 『鸚鵡返文武二道』のハンガリー語訳 — 黄表紙のエッセンスをどう伝える？

CSENDOM Andrea (国際交流基金フェロー (中央大学))

16:20 ~ 16:35

⑥ 古典文学は世界遺産になりうるか — 日本研究と文化遺産学の学際的な試み

GERLINI Edoardo (早稲田大学文学学術院訪問学者、ヴェネツィア・カフォスカリ大学研究員)

16:35 ~ 16:50

【開催場所】国文学研究資料館 2階大会議室



【交通のご案内】

●多摩都市モノレール利用の場合

JR 立川駅下車、
多摩モノレール立川北駅に乗り換え、
高松駅下車、徒歩 10 分

●立川バスの場合

JR 立川駅北口②番のりば乗車、
「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩 1 分
JR 立川駅北口①番のりば乗車、
「立川市役所」バス停下車、徒歩 3 分
JR 立川駅北口②番のりば乗車、
「裁判所前」バス停下車、徒歩 5 分

●徒歩の場合

JR 立川駅下車、徒歩約 25 分

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3

Web: <https://www.nijl.ac.jp/>●問い合わせ先：国際日本文学研究集会事務局
E-mail: icjl@nijl.ac.jp

発表の一部はライブ配信を行う予定です。

国際日本文学研究集会

平成30年

11月17日(土)・18日(日)

18日

受付開始 9:30 ～ [総司会] 齋藤 真麻理 (国文学研究資料館教授)

SAITO Maori

齋藤 真麻理 (国文学研究資料館教授)

第2セッション

[司会]

KONO Kimiko

河野 貴美子 (早稲田大学文学学術院教授)

[4] 知の不安定性の力：藤原清輔と藤原俊成の歌論と和歌の分析からみた

中世における『万葉集』の受容と摂取について

CITKO Malgorzata Karolina (フロリダ州立大学ポスドク)

10:00 ～ 10:30

[5] 西洋における西行受容の一事例 ―ヴィッラーニ・ゲー・アンドラーシュ『反射』の場合―

FITTLER Áron (大阪大学日本語日本文化教育センター非常勤講師)

10:30 ～ 11:00

[6] 意図された誤読 ― 荻生徂徠の「水足氏父子詩巻序」の矛盾、そして朝鮮

LEE Hyowon

李 暁源 (東京大学大学院人文社会系研究科特任准教授)

11:00 ～ 11:30

[7] 清水市次郎出版の『絵本通俗三国志』の挿絵についての考察

LIANG Yunhsien

梁 蘊嫻 (元智大学応用外国語学科アシスタント・プロフェッサー)

11:30 ～ 12:00

休憩 (105 分) 昼食・ポスターセッション

12:00 ～ 13:45

ポスターセッション

平成30年11月18日(日) 12:00 ～ 13:45

※11月17日(土) 13:00 から11月18日(日) 15:00 まで掲示しています。

〈越境文学〉と〈日本文学〉―シリル・ネザマフィの「サラム」をめぐって―

CLAUDEL Sophie (法政大学大学院博士課程)

絵入狂言本考―台帳や役者評判記との比較から―

TAKAHASHI Toshihiko

高橋 俊彦 (埼玉大学大学院修士課程)

中国における日本近現代小説の受容研究：1972 ～ 1978 年

MIAO Fengke

苗 鳳科 (中央大学大学院博士課程)

文語文を素材とした国際共修授業 ―正岡子規『はて知らずの記』を読む―

MUSHIAKE Miki

虫明 美喜 (宮城教育大学特任准教授) / SATO Sekiko

SATO Sekiko

佐藤 勢紀子 (東北大学教授)

水村美苗の『本格小説』におけるノスタルジア ―『嵐が丘』との比較―

MINAMOTO Tomomi

皆本 智美 (摂南大学外国語学部准教授)

『源氏物語』『紫式部日記』における仏教関連用例とそのデータ化

KASUGA Miho

春日 美穂 (大正大学教育開発推進センター専任講師) /

KOSUGE Asuka

小菅 あすか (國學院大學大学院博士課程) / TAKAKURA Akiko

TAKAKURA Akiko

高倉 明樹子 (國學院大學大学院博士課程)

シンポジウム

[司会]

SAKURAI Yoko

櫻井 陽子 (駒澤大学文学部教授)

「いくさの表象」 司会挨拶

13:45 ～ 13:50

パネリスト発表

① 戦争と文学―表象としての深い絆―

NAKAGAWA Shigemi

中川 成美 (立命館大学特任教授)

13:50 ～ 14:20

② 近代日本における元寇図と＜蒙古襲来絵詞＞の図像の伝承

KIM Yongcheol

金 容澈 (高麗大学校グローバル日本研究院教授)

14:20 ～ 14:50

③ 端麗なる戦場―軍記物語のいくさの表象とその来由についての試論―

OTSU Yuichi

大津 雄一 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

14:50 ～ 15:20

休憩 (15 分)

15:20 ～ 15:35

パネルディスカッション

15:35 ～ 16:25

まとめ

16:25 ～ 16:30

総 括

16:30 ～ 16:45